



味の素株式会社 東海事業所

Ajinomoto Co., Inc. Tokai Plant

創業	1909年5月
設立	1925年12月
本社	東京都中央区
資本金	798億6300万円（2012年3月現在）
従業員数	単独3,300人 連結28,245人（2012年3月現在）
事業内容	食品分野、アミノサイエンス分野、医薬・健康分野 における製品の製造と販売

ソリューション概要

- 現場の製造プロセスに合わせた製造実績情報の一元管理と製造状況のリアルタイムでの可視化
- ロットトレース管理、製造原単位の把握とロット別原単位差におけるコストの可視化
- 製造データの自動収集・集約からERPとのデータ連携による意思決定の迅速化

企業概要

味の素グループは、地球的視野に立ち、「食」と「健康」そして、「いのち」のために働き、明日のよりよい生活に貢献しています。食品、アミノサイエンス、医薬・健康という3分野の連携をさらに密にし、全世界で事業展開することで、21世紀の人類の課題である健康希求の充足や食資源確保、地球環境保全への対応に挑戦しています。

東海事業所は三重県四日市市に位置し、1962年に設立され、敷地面積約7万坪、従業員数は約340名。「ほんだし®」を始めとする調味料、アスパルテームなどのアミノ酸系甘味料、アミノ酸石鹼「アミノソープ®」などの化成品や肝臓薬「リーバクト®配合顆粒」などの医薬品を製造しています。

ソリューション導入の背景

東海事業所では、2001年に「海外工場に対する相対的な競争力低下」や「大量の定年退職者」という目前に迫りつつあった課題に対し、生産革新活動をスタートさせました。

これまで、安心・安全、品質向上、コスト削減、技術の伝承などの課題対応は、「事務所が考え、現場が実行」というワークスタイルだったため現場が直面する変化への対応の遅れや、課題の真因まで辿り着けないなどの問題がありました。この問題を解決するため、現場一人ひとりのレベルアップを図り、「現場マン自らが課題を発見し、対策を考え、実行する」といったワークスタイルに変革し、より強い競争力のある工場を目指しました。

目指すワークスタイルを実現するために、以下の課題の検討が開始されました。

- 製造状態をリアルタイムで定量的に把握し、解析結果をスピーディーに運転へフィードバックする
- 実際の運転に合わせた生産管理を実施する
- 製造に関する情報を一元管理する
- PIデータを製造管理・生産管理へシームレスに連携・活用する
- 運転管理システムの刷新を機に、より付加価値の高い生産体制を構築する

これらの要件を検討した結果、「既に導入されていたPIシステムとの連携の良さ」、「コンサルタント（支援体制）の充実」などから、2005年に横河ソリューションズ社のMES（製造実行システム）パッケージであるPIM-Aid（ピム・エイド）の製造実績管理（AR）と受払・在庫管理（BM）の採用が決定されました。

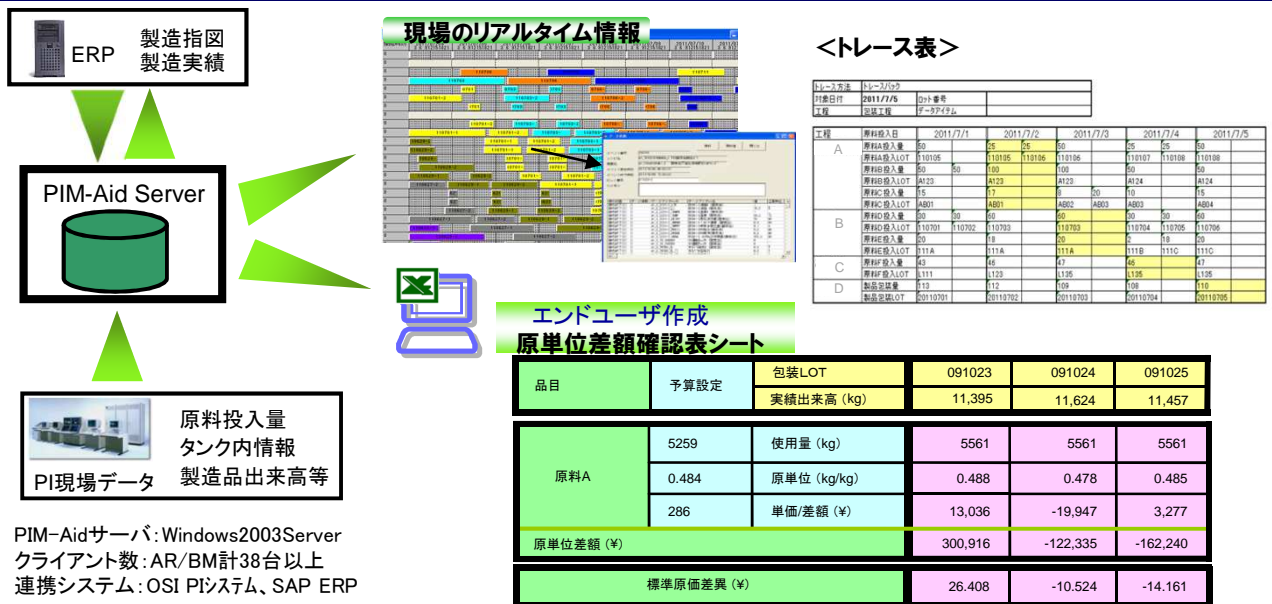
導入効果

東海事業所総務部企画管理グループ情報システムユニットリーダーの鵜飼氏は、「PIM-Aidの導入により、情報の一元管理と実際のプロセスの状況が見えるようになり、現場にコスト改善やムダに対する改善意識が高まりました。また、現場の改善努力が直ぐに数値で確認でき、改善へのモチベーションが向上しコストに対し職場全員が積極的になったことも大きな成果でした。」とコメントされました。

その他にも、以下の効果があったことも述べられています。

- 製造情報のリアルタイム可視化
 - ・装置の稼働状況、ロットの生産状況や集約された製造実績も簡単に確認ができるようになった
 - ・製造原単位と原単位差額がいち早く把握できるようになった
 - ・実際のモノの流れに合わせた製造実績データ管理が実現できた
- 製造管理業務の作業時間の短縮と負担軽減
 - ・PIシステムから運転データを自動収集でき、手入力作業の削減やヒューマンエラーの減少ができた
 - ・情報の一元管理により、各種管理帳票作成の効率化と修正に伴うデータの保守性の向上ができた
 - ・作成に時間がかかっていたロットトレース表を瞬時に参照できるようになった
- ERPとのシステム間連携による作業効率化
 - ・ERPへ送信する製造実績値や入在庫実績値をマスター定義で作成でき、ERPからの製造指図に合わせた製造実績報告・入在庫報告作業の簡素化・効率化ができるようになった

システム概要



今後の展開

鵜飼氏は、「MESの基盤整備により、現場の現象がすべて数字で表現できるため、コストに対する感性の高まりが、現場視点ならではの改善意識の向上・競争力の向上につながった。今後も、お客様へ良い製品をより安く届けるため、『最強コスト工場』を目指し、更なる改善に取り組んでいきたい」とコメントされました。

本文中に使われている製品名は、横河ソリューションサービス株式会社および各社の登録商標または商標です。

YOKOGAWA ◆
 横河ソリューションサービス株式会社

営業・製品に関するお問い合わせ先
 〒 180-8750
 東京都武蔵野市中町2-9-32
 TEL 0422-52-9576
 URL <http://www.yokogawa.co.jp/isol/>

お問い合わせは